

日本英語学会第35回大会

日時: 2017年11月18日(土)・19日(日)

場所: 東北大学 川内北キャンパス (Tohoku University, Kawauchi-Kita Campus)
(〒980-8576 仙台市青葉区川内41)

第1日 11月18日(土)

午前

ワークショップ 9時30分より11時45分まで

第1室 英語力の伸張と論理的思考力の伸張について (B棟2階 B200教室)

企画者 花崎美紀(法政大学)
司会者 花崎美紀(法政大学)
発表者 吉川 厚(東京工業大学)、多々良直広(桜美林大学)、八木橋宏勇(杏林大学)、藤原隆史(松商学園高等学校)、菊池 聡(信州大学)、花崎美紀(法政大学)、花崎一夫(信州大学)、大塚崇史(松本考査中等教育学校)

第2室 極小主義統語論における外在化 (B棟2階 B201教室)

企画者 坂本祐太(中央大学)
司会者 坂本祐太(中央大学)
発表者 後藤 亘(東洋大学)、坂本祐太(中央大学)、瀧田健介(明治大学)、中村太一(福井大学)

第3室 なぜ言語には非付着性が存在するのか? (B棟2階 B202教室)

企画者 藤田 元(上智大学大学院)
司会者 藤田 元(上智大学大学院)
発表者 ディスカッション 北原久嗣(慶應義塾大学)、内堀朝子(日本大学)、藤田 元(上智大学大学院)

第4室 非頭在的統語操作の発展と拡張 (B棟2階 B203教室)

企画者 浦 啓之(関西学院大学)
司会者 浦 啓之(関西学院大学)
発表者 多田浩章(福岡大学)、浦 啓之(関西学院大学)、岡 俊房(福岡教育大学)

スチューデント・ワークショップ 9時30分より11時45分まで

第5室 ことばの意味の可能性: 手続的情報と構文 (B棟2階 B204教室)

企画者 盛田有貴(奈良女子大学(非常勤))
司会者 盛田有貴(奈良女子大学(非常勤))
発表者 盛田有貴(奈良女子大学(非常勤))、楊 雯淇(北海道大学大学院)、板垣浩正(大阪大学大学院)、時教須美子(奈良女子大学大学院)

受付 11時30分より (B棟1階 談話室)

総会 12時より12時50分まで (B棟2階 B200教室)

◇開会の辞 会長 伊藤たかね(東京大学)
◇開催代表挨拶 東北大学大学院文学研究科長 森本浩一
◇委員会・事務局報告
大会運営委員会報告 委員長 本間伸輔(新潟大学)
編集委員会報告 委員長 菊地 朗(東北大学)
広報委員会報告 委員長 鎌田浩二(千葉大学)
事務局報告 事務局長 磯野達也(成城大学)
学会賞委員会報告 委員長 高橋英光(北海道大学)
◇授賞式

午後

研究発表 13時より14時55分まで (各発表の間に5分の休憩)

第一室 松岡幹就(山梨大学) (B棟2階 B200教室)

司会 Nobuko Hasegawa (Kanda University of International Studies) [招聘]
中島悠法(東北大学大学院) [招聘]
本多正敏(筑波大学大学院)

"On the Structure and Derivation of Gerundive Reduced Relative Clauses"
「厳密循環性再考: ラベル付けの観点から」
「否定倒置と名詞句内の情報構造に対する示唆」

第二室 中尾千鶴(大東文化大学) (B棟2階 B201教室)

司会 吉田江依子(名古屋工業大学) Hidekazu Tanaka (Okayama University) [招聘]
田中江扶(扶州大学)

「情報構造に基づくフェイズの特性」
「Fragment Answers with Focus Particles」
「heart pounding タイプの分詞構文と所有者昇格」

第三室 都築雅子(中央大学) (B棟2階 B202教室)

司会 廣江 颯(長崎大学)
平沢慎也(東京大学(非常勤))
浅井良策(大阪大学)

「引用マーカー「と」の概念構造」
「for all sb knows の意味・用法の記述」
「英語の「非意図的」結果構文について」

第四室 堀田優子(金沢大学) (B棟2階 B203教室)

司会 小中川 暁(獨協大学)
林 智昭(近畿大学(非常勤))
後藤秀貴(大阪大学大学院)

「単数構文と複数構文」
「前置詞に伴う前置詞らしさの規定: 文化の漸進性に関する共時的研究」
「日英語の胸部と腹部の理解をめぐって」
「一比論的認知を生む身体経験、社会・文化経験の観点から」

第五室 村上まどか(実践女子大学) (B棟2階 B204教室)

司会 松岡和美(慶應義塾大学[招聘])
田中祐太(名古屋大学大学院)

「日本語話のright peripheryの考察: 否定とモダリティ」
「動詞end upの歴史変化とPredPの出現」

第六室 吉田悦子(三重大学) (B棟1階 B101教室)

司会 大澤 舞(東邦大学)
平尾恵美(奈良女子大学大学院)
有光奈美(東洋大学)

「justの対人関係調整機能」
「insubordination に関する一考察」
「If+not [P] 構文と慣習性をめぐって」
「恥知らずなX」と「恥ずかしいX」における視点的対比」
「"shameless" と "shameful" の意味理解」

シンポジウム 15時15分より18時まで

A室 意味と統語構造のインターフェイス (C棟2階 C200教室)

司会 西垣内泰介(神戸松蔭女子学院大学)
講師 藤井友太郎(横浜国立大学)
講師 遠藤雅雄(神戸外国語大学)
講師 西垣内泰介(神戸松蔭女子学院大学)

「可算名詞・不可算名詞の別、一般数、および数素性」
「副詞句のinternal syntax とexternal syntax」
「潜伏疑問の統語構造」

B室 話しことばが新たに拓く文法の多重性: 理論と実践 (B棟2階 B200教室)

司会 高梨博子(日本女子大学)
講師 高梨博子(日本女子大学)
講師 遠藤雅子(成城大学)
講師 土屋智行(九州大学)
講師 中山俊秀(東京外国語大学)

「対話統語論からみた遊び表現の文法化現象」
「言語社会における定形表現 - binomials の場合」
「言語環境に応じた言語知識の活性化」
「会話に見られる言語表現の文法的特異性」

C室 英語史における定型表現 (B棟2階 B201教室)

司会 渡辺拓人(熊本学園大学)
講師 小塚良季(愛知教育大学)
講師 谷 明信(兵庫教育大学)
講師 渡辺拓人(熊本学園大学)
講師 柴崎礼士郎(明治大学)

「古英語の動詞・目的語の語順にみられる定型性」
「中英語における定型表現 - binomials の場合」
「初期近代英語における近接未来表現の消長」
「後期近代英語から現代英語にかけての定型表現と定型性の変化について」

懇親会 18時20分より19時50分まで

川内の杜ダイニング(川内厚生会館内) 会費: 4,000円(学生3,000円)

交通: 仙台市営地下鉄東西線八木山動物公園行きに乗り川内駅(キャンパス直結)下車、または国際センター駅(西1口より徒歩約5分)下車

参加費: 2,000円(会員、非会員とも)。
ただし、公開特別シンポジウム(シンポジウムD室)のみの入場は無料。

- 大会期間中(18日・19日)は車でのご来場はできません。
- キャンパス(校舎内および通路)は禁煙です。
- 18日(土)・19日(日)の両日とも、川内厚生会館内「川内の杜ダイニング」(営業時間: 11:00~14:30)と「川内購買書箱店」(営業時間: 11:00~14:00)をご利用いただけます。18日(土)のみ「キッチンテラス Couleur(カラー・ブコーナー)」(営業時間: 11:00~14:30)もご利用いただけます。
- 書籍展示・販売会場: C棟2階C201・C202・C206教室

第2日 11月19日(日)

午前

受付 9時より (B棟1階 談話室)

研究発表 9時30分より12時10分まで (第2発表と第3発表の間に10分の休憩 それ以外は5分の休憩)

第七室 成田広樹(東海大学) (B棟2階 B200教室)

司会 西原俊明(長崎大学)
小林亮一朗(上智大学大学院)
中村太一(福井大学)
佐藤亮輔(東北大学大学院)
阿部 潤(元東北学院大学)[招聘]

「[a/the N][the N of NP] 形式表現とラベル付け計算法」
「二種類のFrom-to 表現と統語的対称性について」
「ラベル決定アルゴリズムによる節動名詞の分析」
「Tough 構文における再構築について」

第八室 窪田悠介(筑波大学) (B棟2階 B201教室)

司会 吉川裕介(近畿大学)
高橋 寛(昭和大学)
小深田祐子(熊本学園大学)
村上まどか(実践女子大学)
西友和也(筑波大学(非常勤))
大久保龍寛(茨城県立医療大学)

「[J-B-X DM-Y] 構文の構成性について」
「所有構文における名詞の意味機能」
「名詞結合の派生とステイクスについて: 転換名詞としての分析」
「属格複合語内に見られる識別焦点と主要部削除」

第九室 高田雅晴(筑波大学) (B棟2階 B202教室)

司会 大塚知昇(九州共立大学)
森本義樹(関西学院大学大学院)
松岡幹就(山梨大学)
葛西宏信(北九州市立大学)[招聘]
根本顕士(北海道教育大学)

「[A/A-bar 区分とImproper Movement] の再考察」
「時制とwh 一致現象: 極小理論による一考察」
「oP」
「VP 削除からみた状態変化動詞の項交替」

第十室 米山聖子(大東文化大学) (B棟2階 B203教室)

司会 Kohel Nishimura (Iwaki Meisei University)
Hideo Kobayashi (University of Hyogo (part-time))
中尾千鶴(大東文化大学)
米山聖子(大東文化大学)
北原真冬(上智大学)
田嶋圭一(法政大学)
深澤るか(慶應義塾大学)[招聘]
北原真冬(上智大学)

「Phonological Optionality in Japanese Loanwords」
「Empirical Evidence to Consonant Harmony in English Reduplication」
「北米英語の非対立的音声変異の知覚: 弾音と閉鎖音の場合」
「oP」
「VP 削除からみた状態変化動詞の項交替」

第十一室 秦かおり(大阪大学) (B棟2階 B204教室)

司会 清水 眞(東京理科大学)
村田真樹(鳥取大学大学院)
拙冬和(関西大学大学院)

「英語学術論文に頻出する学術語彙リストの作成」
「EFL グループ相互行為における談話標識 "So" の機能的役割: アカデミックディスコースにおける言語社会化に関するエスノグラフィー研究」

司会 鈴木 亨(山形大学)

Ryan Spring (Tohoku University)
Barry Kavanagh (Tohoku University)

"Applying Advances in Cognitive Linguistic Typology to Phrasal Verb Instruction"
"Is the OPOL Approach an Effective Method in Raising a Bilingual Child in Japan?"

鈴木 亨(山形大学)

"Applying Advances in Cognitive Linguistic Typology to Phrasal Verb Instruction"

"Is the OPOL Approach an Effective Method in Raising a Bilingual Child in Japan?"

鈴木 亨(山形大学)

"Applying Advances in Cognitive Linguistic Typology to Phrasal Verb Instruction"

"Is the OPOL Approach an Effective Method in Raising a Bilingual Child in Japan?"

鈴木 亨(山形大学)

"Applying Advances in Cognitive Linguistic Typology to Phrasal Verb Instruction"

"Is the OPOL Approach an Effective Method in Raising a Bilingual Child in Japan?"

鈴木 亨(山形大学)

"Applying Advances in Cognitive Linguistic Typology to Phrasal Verb Instruction"

"Is the OPOL Approach an Effective Method in Raising a Bilingual Child in Japan?"

鈴木 亨(山形大学)

"Applying Advances in Cognitive Linguistic Typology to Phrasal Verb Instruction"

"Is the OPOL Approach an Effective Method in Raising a Bilingual Child in Japan?"

鈴木 亨(山形大学)

"Applying Advances in Cognitive Linguistic Typology to Phrasal Verb Instruction"

"Is the OPOL Approach an Effective Method in Raising a Bilingual Child in Japan?"

鈴木 亨(山形大学)

"Applying Advances in Cognitive Linguistic Typology to Phrasal Verb Instruction"

"Is the OPOL Approach an Effective Method in Raising a Bilingual Child in Japan?"

鈴木 亨(山形大学)

"Applying Advances in Cognitive Linguistic Typology to Phrasal Verb Instruction"

"Is the OPOL Approach an Effective Method in Raising a Bilingual Child in Japan?"

鈴木 亨(山形大学)

"Applying Advances in Cognitive Linguistic Typology to Phrasal Verb Instruction"

"Is the OPOL Approach an Effective Method in Raising a Bilingual Child in Japan?"

鈴木 亨(山形大学)

"Applying Advances in Cognitive Linguistic Typology to Phrasal Verb Instruction"

"Is the OPOL Approach an Effective Method in Raising a Bilingual Child in Japan?"

鈴木 亨(山形大学)

"Applying Advances in Cognitive Linguistic Typology to Phrasal Verb Instruction"

"Is the OPOL Approach an Effective Method in Raising a Bilingual Child in Japan?"

鈴木 亨(山形大学)

"Applying Advances in Cognitive Linguistic Typology to Phrasal Verb Instruction"

"Is the OPOL Approach an Effective Method in Raising a Bilingual Child in Japan?"

鈴木 亨(山形大学)

"Applying Advances in Cognitive Linguistic Typology to Phrasal Verb Instruction"

"Is the OPOL Approach an Effective Method in Raising a Bilingual Child in Japan?"

鈴木 亨(山形大学)

"Applying Advances in Cognitive Linguistic Typology to Phrasal Verb Instruction"

"Is the OPOL Approach an Effective Method in Raising a Bilingual Child in Japan?"

鈴木 亨(山形大学)

"Applying Advances in Cognitive Linguistic Typology to Phrasal Verb Instruction"

"Is the OPOL Approach an Effective Method in Raising a Bilingual Child in Japan?"